

1 令和5年度 事業報告

3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類となり、社会経済活動や学校活動等への制約がなくなりました。数年ぶりに、それぞれの地域で実施されたイベントや祭りには、予想をはるかに上回る人出があり、多くの笑顔に溢れ、かつての活気が戻ってきました。

ふれあい給食会の半数以上が会食を再開し、こどもの居場所は、全小学校区で実施されるなど、地域での活動も活発に行われるようになりました。令和5年度に、新たに配置した地域活動コーディネーターは、さまざまな居場所の再開や開始の支援に東奔西走しました。児童館や学童保育コーナーには、大きな声で遊ぶ子どもたちの声が響き、ボランティアセンターのボランティアのマッチング件数は前年の2倍以上となり、ボランティアの体験企画には、学生を中心に多くのボランティアが参加しました。

しかし、およそ3年間に渡るコロナ禍の影響は大きく、人と人のつながりの希薄化、経済的困窮や子どもの貧困、深刻さを増した社会的孤立といった課題は残されたままです。さらに、3年間、地域活動が滞ったことにより、地域福祉の担い手の後継者育成も滞り、地域福祉の担い手不足は深刻な状況になっています。

本会では、生活に困窮する世帯や複合化した課題を抱える世帯など、社会的に孤立している世帯に寄り添いながら、関係機関や専門職、地域の皆さまとともに相談支援を行いました。また、担い手不足の課題には、関係者ともに真剣に話し合う場を設けるなど、課題解決にも着手しました。

単に、コロナ禍前にもどるのではなく、変化を柔軟に受け入れ、令和7年度に予定されている市区社協合併の主目的である「地域福祉の推進に注力できる組織を目指す」「区社協の地域福祉活動を推進する機能を一層強化する」を実現できるよう、地域に出向く機会を増やしていきます。そして、地域活動者の声に丁寧に耳を傾け、「SDGs」の理念、「“こうべ”の社会福祉協議会 地域福祉推進計画2025」を念頭に、思いやりの心を育み、困りごとを抱える人に寄り添い、そして、住民が主役となった地域づくりへの支援を引き続き進めていきます。

令和5年度 目指す方向性（事業方針）

1. 福祉の“魅力”を発信し、思いやりの心を育みます



SDGs

2. 困りごとを抱える人に寄り添い、その人らしい暮らしの実現を応援します

3. さまざまな人が集まり、支え合いにつながる「話し合う場」をつくります

4. 地域で支え合う活動が根付くように支援します（新たなつながりの再構築）

取り組みの重点事項

1. コロナで変化する地域福祉活動の支援

- ◆ 地域に出向く機会を増やし、地域活動者の声に丁寧に耳を傾け、提案を含めた支援を進める。
- ◆ 地域福祉活動の立ち上げ・転換・再スタート・継続を支援する。
- ◆ 民生委員や婦人会、ふれあいのまちづくり協議会などとの連携・協働をさらに進め、さまざまな居場所の活動を支援する。
- ◆ 地域団体向けの講師派遣事業を充実し、活性化を支援する。
- ◆ 給食会の会食再開やふれあい喫茶、友愛訪問活動を支援する。

2. 地域福祉ネットワーク事業の推進

- ◆ 悩みを抱える区民からのさまざまな相談を受け止め、寄り添いながら相談支援を行う。
- ◆ くらし支援窓口など、区役所の各部署や他機関の専門職との連携を進める。
- ◆ ひきこもり世帯の支援や、当事者とその家族が安心して集える場を作る。
- ◆ 世帯支援を通じて把握した課題をテーマにした勉強会を行い、困りごとに気付ける地域づくりを進める。
- ◆ 困りごとの相談を区社協や専門窓口につなぐ協力者を増やす。

3. 子どもの健全育成と子育て家庭への支援

- ◆ 地域との連携をさらに密にし、児童館での健全育成事業を通して、子どもの生活の安定と保護者への子育て支援を進める。
- ◆ こどもの居場所や地域の子育て支援の活動をさらに支援し、子どもが笑顔で健やかに成長できる地域づくりを進める。

4. ボランティア活動の推進

- ◆ 一人でもできるボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの養成とボランティアニーズの開拓を進める。
- ◆ NPOや個人、地域団体、企業などと連携しながら、身近な困りごとに対応するボランティア活動を進める。
- ◆ ボランティア活動の体験を行うことで、活動に参加し、継続的に活動できる支援を進める。

5. 寄付を活かした地域支援の推進

- ◆ 善意銀行や基金を基に、活用しやすい助成による支援を進める。

6. 外国文化を認め合う地域共生の推進

- ◆ 児童館を軸として、外国にルーツを持つ子どもと親を支援する。
- ◆ 地域とともに「住民どうしの交流会」などを実施し、お互いの文化を認め合う意識を高める。

共通の視点

【ホームページやSNSのさらなる活用、災害時の対応に向けた検討】

- ニーズ調査に基づく現状を分析し、災害時の対応について検討を進める
- アフターコロナの地域福祉活動を積極的に発信し、効果的な広報を行う

【地域共生社会の実現に向けた包括的な支援の実践】

- 業務の連携を進め、区社協の全ての職員の力を結集し、総合力で取り組みを進める
- 地域団体とともに社会福祉法人やNPO、学生などとの連携を進める

【経営組織としてのガバナンスの強化】

- 人材育成（専門的技術・マネジメント能力・政策提案能力など）を進める
- 組織全体の方向性（ビジョン）を明確化し、役職員の共通理解を進める

拡げる理解 拡がる参加 お互いさまの地域づくり



芝田カナエ・和江基金を活用



共同募金配分金の一部を活用

中止

新型コロナウイルス感染症のため中止した事業

I. 気づき・共感を育む

1. 思いやりの心を育みます

(1) 手話講習会（入門課程）の開催

手話を学びながら、聴覚に障がいのある方への理解を深めるため、長田区聴力言語障害者福祉協会、手話サークル若葉との共催で、全22回の手話講習会入門課程（5月9日～7月20日）を実施しました。（受講者7名、修了者5名）

(2) 福祉教育・ボランティア学習の支援

① 福祉教育用具及びイベント資機材の貸出件数

福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、備品の貸し出しを行いました。

《貸出実績》

(件)

	車いす	アイマスク	白杖	点字ブロック	高齢者疑似体験セット	点字器	イベント	計
福祉教育	7	7	8	7	11	0	0	40
ボランティア学習・社員研修	3	0	0	0	3	0	0	6
その他	1	1	0	1	4	0	2	9
計	11	8	8	8	18	0	2	55

② 「認知症学習会」の開催 令和5年度は依頼なし

（小学校の児童に対して認知症の理解を拡げるため、朗読ボランティアやあんしんすこやかセンターと協力し、紙芝居により実施する事業）

2. 支え合う気持ちを後押しします

(1) ボランティアセンターの運営

長田ボランティアセンター・それいけネットワークの運営を通じ、誰でも気軽にボランティア活動に参加できる基盤づくりに努めました。

① ボランティアコーディネート業務

《ボランティア登録状況》 (令和6年3月末)

	登録数
個人ボランティア	232名
ボランティア団体	266団体 (10,077名)

《相談対応状況》 (令和6年3月末)

	件数	備考
ボランティア依頼(ニード)	69件	うち、個人からの依頼 3件
活動成立(マッチング)	68件	
ボランティア活動に関する相談	904件	
その他の相談	1,213件	「1.17KOBE に灯りを in ながた」関連の相談・連絡含む

② ボランティア保険の受付

《受付状況》 (令和6年3月末)

内容		加入件数	加入者数
兵庫県ボランティア・ 市民活動災害共済	市民活動災害共済	463件	2,476名
	天災危険補償プラン	2件	2名
兵庫県ボランティア活動等行事用保険		231件	20,937名
兵庫県移送サービス交通傷害保険		3件	14名
福祉サービス総合補償(全社協)		1件	39名

③ ボランティア講座の開催

《開催状況》

	講座名(内容)	開催日程	参加者数
1	手話講習会(入門課程の開催)	5月9日 ～7月20日 (全2回)	7名
2	ピリカ・ボランティアグループミーティング (ピリカを使ってひとりからボランティア活動をする機会を提供する。また、グループ化によって活動の継続を支援する。)	4月17日 5月15日 6月19日 7月24日 8月21日 9月25日 11月20日 1月15日 2月19日	のべ63名
3	第3回ぴりかーず大集合	10月16日	6名
4	夏のボランティア体験企画 活動先: ① 志里池児童館 ② ヒーロー食堂 ③ ふたば学舎 ④ しゅうしんこう晴天食堂 ⑤ スマイルフェスタ(五位の池小学校) ⑥ シャローム福祉会 ⑦ みらいおもいけ園 ⑧ 個性の作業所七つの海 ⑨ ケアプラザそよ風ながた ⑩ 池田北部地区民生委員児童委員協議会 ⑪ デイサービスそよ風 ⑫ デイサービス SNOWPLUM (計12か所)	7・8月	のべ40名
5	ボラカフェビギナーズ (これからボランティアをはじめよう、再開しようと考えている一般向け講座)	4月12日 5月10日 6月14日 7月12日 8月9日 9月13日 10月11日 11月8日 12月13日 2月14日	のべ17名

6	レクリエーション講座 講師:山本 存さん (ボランティア活動中のすきま時間で手軽にできるレクリエーションのアイデアを実践的に学ぶ)	10月30日	28名
7	視覚障がい者ボランティア講座 講師:濱田 明展さん (視覚障がいについて多くの方に知っていただき、理解を深め、日常的な支援の方法を学ぶ)	12月4日	17名
8	発達障がい体験講座 講師:NPO 法人そらしど (視覚・聴覚・触覚の疑似体験を通じて発達障がいの理解を深める)	12月15日	32名
9	1.17KOBEに灯りをinながた 防災・減災授業 (出前講座) (防災・減災学習と 1.17 当日のローソクづくりのワークショップ、あるいはメッセージの作成。)	12月1日 12月5日 12月11日 12月14日	224名
10	ボラカフェマスターズ	3月5日	7名
		計	441名

④学生ボランティアと地域福祉活動の場とのつながりづくり

長田高校山岳部が高取山筋登山連合会と連携し、高取山登山道の清掃活動を実施しました。

- ・事前打合せ 10月30日
- ・清掃活動 12月22日

⑤ ボランティアルームの運営

区社協事務所内に設置したボランティアルームをボランティアグループの会議や情報交換の場として運営しました。

- ・ボランティアルームを活用した企画
 - 『ピリカ・ボランティアグループミーティング』(9回)
 - 『ボラカフェビギナーズ』(10回)
 - 『ボラカフェマスターズ』(1回)
- ・ボランティアルーム定期利用登録団体 8団体

⑥ 神戸市事業「KOBESINIA元気ポイント」への協力

ポイント事務局が開催する「活動者向け説明会」に協力し、ボランティアコーディネーターが活動の心構えの講義を行い、高齢者の社会参加を応援しました。

《説明会開催状況》 7回（参加者数 38名）

(2) 多様な福祉活動への参加の促進

① テレフォンサポート事業の実施

区民のボランティア活動をサポートしながら、閉じこもりがちな高齢者を対象に電話を通じた傾聴活動により安否確認を進めました。

また、ボランティア連絡会を年間10回開催しました。（月1回、8月・2月除く）

《テレフォンサポート 活動状況》 ※毎週火・木の午後に実施

ボランティア数	対象高齢者数	活動日数	通話回数(のべ)
6名	17名	100日	614回



② 高齢者マッサージ奉仕の実施

神戸市視覚障害者福祉協会長田支部、ふれあいのまちづくり協議会等の協力を得て、高齢者マッサージ奉仕を実施しました。

丸山ふれあいのまちづくり協議会

（丸山地域福祉センター）

令和5年9月8日（金） 10:00～12:00 16名参加

③ 共同募金運動への協力

地域や団体、学校などさまざまな主体が参画する長田区共同募金委員会の運動に協力しました。

《赤い羽根共同募金の実績》

	実績額	備考
一般募金	4,135,854円	10月～12月
期間拡大募金	7,459円	1月～3月
計	4,143,313円	



あかはねちゃん
長田区共同募金会

《歳末たすけあい募金の実績》

	実績額	備考
歳末たすけあい募金	2,334,219円	11月中旬～12月中旬

芝 (3) 芝田カナエ・和江基金を活用した助成と事業の実施

長田の子どもたちの幸せを願う寄付者の希望に沿って、地域で福祉活動を行う団体、施設を支援しました。

《芝田カナエ・和江基金運営委員会の開催》

令和6年3月4日（長田区役所 5階501）

《児童福祉事業助成審査委員会の開催》

令和6年2月7日（長田区役所 7階702）

実施内容		助成額	備考
事業に対する支援	1 児童福祉事業助成	500,000円	丸山地域活性化協議会
	2 子どもを中心とした地域交流事業助成	0円	申請なし
	3 こどもの居場所運営助成	480,000円	
	4 ママコーチング「親子ヨガ」	129,910円	
	5 長田区5歳児地域交流会	110,000円	
	6 長田区児童館合同行事 じどうかん☆よーせてなかよしひろば	100,000円	
	7 夏休みものづくり教室への助成	0円	中止
	8 サマーチャレンジ	210,000円	
	9 絵本こうかん市場事業	24,000円	
施設への支援	10 区内児童福祉事業助成への物品購入助成	300,000円	
	11 児童福祉施設等入所者への就労支援	0円	令和5年度は対象者なし
	12 赤ちゃんホームへの物品購入助成	0円	
就学	13 交通遺児に対する修学支援	150,000円	

その他	14	はびっと〜本を手にする習慣づけ〜	443,146円	
	15	里親制度の啓発協力	0円	中止
計			2,477,056円	

(4) 善意銀行による団体などへの支援

区民や企業、団体からの善意（寄付、物品）をお預かりし、寄付者の意向に沿いながら、区内の団体、施設に対して払出を行いました。

《善意銀行運営委員会の開催》

令和6年3月4日（長田区役所 5階501）

《金銭 預託状況》

預託金	件数	金額
預託金	63件	1,011,725円
利息収入	—	19,200円
計	63件	1,030,925円

《金銭 払出状況》

払出先	金額
池田婦人会	30,000円
長田区聴力言語障害者福祉協会	30,000円
プラザひろば喫茶	15,000円
みやおかカフェ実行委員会	30,000円
長田区連合婦人会	100,000円
おにぎる	50,000円
計	255,000円

《物品 預託・払出状況》

預託		払出	
預託者	預託物品	払出先	払出数
株式会社マルハン	菓子 12,236個	地域団体・こどもの居 場所・区内福祉施 など 40件	12,236個

《車の貸し出し状況》

120件

《綿菓子機、ポップコーン機等イベント用機材の貸し出し状況》

37件（綿菓子8、餅切り10、ポップコーン11、かき氷8）



(5) 赤い羽根共同募金配分金による団体などへの支援

配分金を活用して、地域に根付いた地域福祉活動が実施できるよう支援しました。

《赤い羽根共同募金 配分状況》

※令和4年度の募金を財源に配分

	配分団体	配分額
高齢者 福祉活動	長田区老人クラブ連合会	65,000円
障がい児・者 福祉活動	神戸市視覚障害者福祉協会 長田支部 長田区聴力言語障害者福祉協会	130,000円
児童・青少年 福祉活動	長田区子ども会連合会 長田地区青少年育成協議会 長田区母子福祉たちばな会 神戸市少年団野球リーグ 長田地区委員会	305,000円
住民全般 福祉活動	長田区連合婦人会 長田区保護司会 長田区遺族会	215,000円
	計	715,000円



(6) 歳末たすけあい募金配分金による団体などへの支援

配分金を活用して、年末、年始を中心とした地域住民の交流活動を支援しました。

《歳末たすけあい募金 配分状況》

※令和5年度の募金を財源に配分

	配分団体(事業)	配分額
高齢者	高齢者への見守り活動支援カレンダー配布事業	721,297円
	ひとりぐらし高齢者等給食サービスグループ活動支援(20団体)	711,319円
障がい児・者	障がい児・者と地域住民の交流事業助成(6団体)	205,000円
外国人	外国人と地域住民の交流事業助成(3団体)	140,000円
福祉課題	何らかの事情で制度やサービス等が届きにくい 福祉課題を抱える人や世帯への支援(1団体)	85,000円

児童	こどもの居場所(学習支援・食事提供等)事業の活動支援(13団体)	461,000円
地域活動	NPO等による地域福祉活動への支援(2団体)	70,000円
	親子で参画する地域歳末行事への助成(11団体)	210,000円
	歳末たすけあい募金地域福祉活動費(14団体)	196,600円
	計	2,800,216円

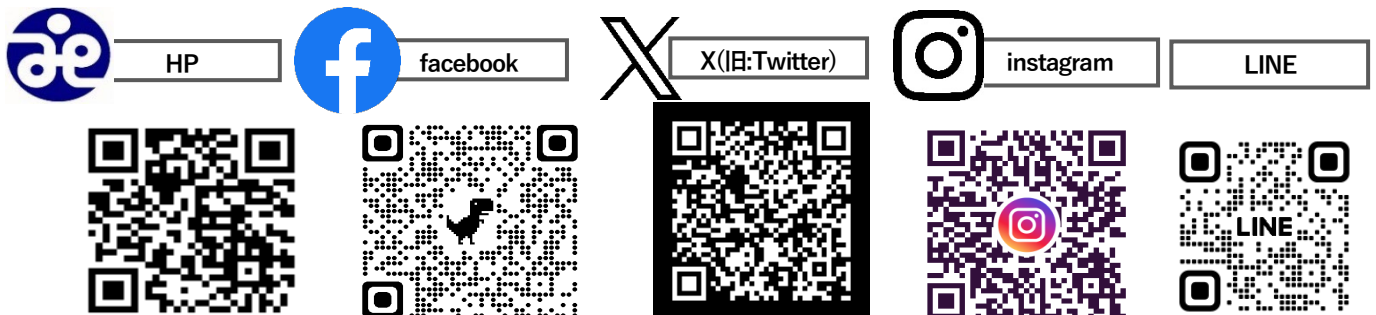
3. 福祉の“魅力”を発信します

(1) 情報発信の充実

① 区社協ホームページ及びSNSを用いた情報発信

給食グループによる配食活動や地域のふれあい喫茶を取材し、タイムリーに情報発信しました。

また、助成金情報や区社協の事業についても発信しました。



② ボランティアセンター情報誌の発行

季刊「それいけ ながた」No. 9 (令和6年3月) 800部

4. 日頃から災害への備えを進めます

市内の他の社会福祉協議会(神戸市社協、区社協)と協定を締結し、災害時に職員派遣や物資の支援など、相互に支援し合える体制を整えました。

また、阪神・淡路大震災で大きく被災した長田区だからこそ得られたさまざまな想いを風化させることなく、防災の視点を持って次世代へ継承していく取り組みに協力しました。

(1) 「1.17KOBEに灯りをinながた」実行委員会への協力

灯りをともし市民参加型の事業として、阪神・淡路大震災の犠牲者への追悼行事を行う実行委員会に協力しました。

《開催状況》

日 時	令和6年1月17日 16:00～20:00
場 所	鉄人広場
内 容	① ペットボトル灯ろう、LED 灯ろう、竹灯ろうの3種類を会場内3か所に設置し、祈りを捧げる場を提供。 ② 追悼ライブ(鷹取中学校有志による合唱、長田の宮神撫太鼓の実施。 ③ 学生ボランティアによる次年度開催に向けた募金活動の実施。

《学生のボランティア参加》

(事前準備)

神戸常盤女子高校(牛乳パック募金箱づくり)

(当日)

神戸常盤大学 13名

関西国際大学 11名

神戸大学 18名

神戸常盤女子高校 94名

湊川高校 3名

鷹取中学校(合唱)約50名 ※順不同

《震災防災学習会》

小中学校を対象に、震災と防災に関する学習会を実施しました。

また、同時に追悼行事で使用するロウソクづくりとLED灯ろうにメッセージを書くワークショップを開催しました。(灯ろうメッセージ作成数 約40件)

実施校	実施日	学年	参加者数	ワークショップ
駒ヶ林中学校	12月5日	1年生	76名	ロウソクづくり
蓮池小学校	12月14日	4年生	77名	ロウソクづくり
長田南小学校	12月11日	6年生	37名	メッセージ
水木小学校	12月1日	4年生	34名	ロウソクづくり
計			224名	

《竹切りワークショップ》

竹切りを体験するワークショップの開催に協力しました。伐採した竹で募金箱を作成し、当日、来場者に配布しました。

日付	令和6年1月13日
場所	若王山無動寺(北区山田町)
参加者	9名

(2) 長田区災害時の医療・介護提供協議会への参画

災害時に医療と介護事業者が連携して取り組むことができるよう、医師会、歯科医師会、薬剤師会、区内介護事業者などと平時からネットワークを組んでいます。

Ⅱ. 暮らしに寄り添う

1. 困りごとを受け止め、つなぎます

(1) 地域福祉ネットワーク事業

既存の制度や福祉サービスでは解決することが難しい、そのような複合的な福祉課題を抱える世帯に、関係機関や専門職、地域団体をつなぎ、それぞれの役割で支えていくしくみをつくる取り組みが「地域福祉ネットワーク事業」です。

地域福祉ネットワークワーカー、生活支援コーディネーター、子育てコーディネーター、地域活動コーディネーター、ボランティアコーディネーターなど、区社協のワーカーの総合力により、暮らしの困りごとや悩みを受け止め、その人に寄り添いながらさまざまな福祉サービスにつなぐサポートを行いました。

《個別支援ケース数》

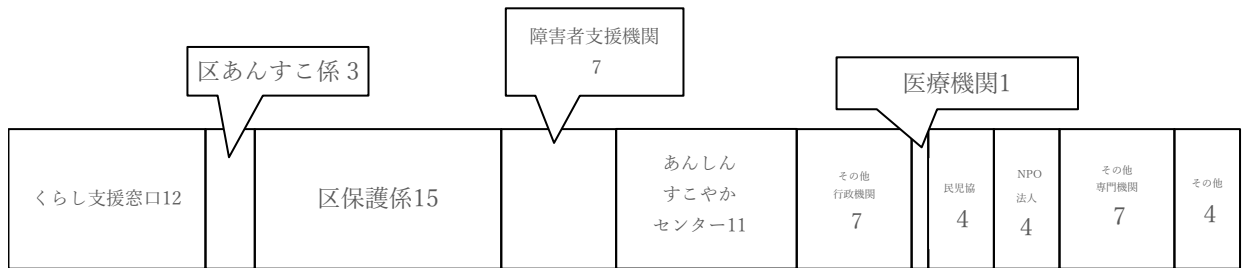
新規 72件	継続 19件	計 91件
--------	--------	-------

《世帯状況》※新規相談者

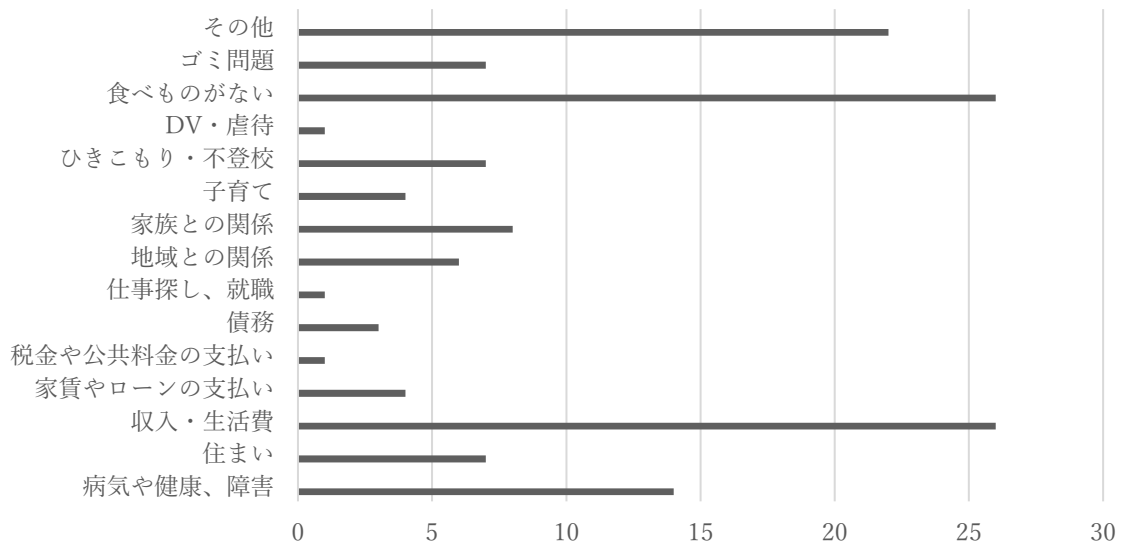
高齢単身 24世帯	40～60歳 8世帯	複数その他 6世帯	ひとり親 18歳以上 7世帯	ひとり親 18歳未満 6世帯	その他単身 6世帯	不明 13世帯
-----------	---------------	--------------	----------------------	----------------------	--------------	------------

高齢者複数2世帯

《相談経路》



個別ケースの概要



地域福祉ネットワークによる支援の事例

世帯の状況

外国籍 A さん（30代・女性）と小学生低学年児童の母子世帯。
母の再婚のため15年ほど前に来日。

日本で知り合ったパートナーとの間に児童（療育手帳 B2）が生まれたが、パートナー関係は解消。難しい日本語や漢字の理解ができず、度重なる家賃滞納から入居取り消しとなっていた。金銭面でも困窮していたが、相談機関にうまく伝えられず必要な手続きができないまま、様々なものの更新や申請などもできていない状態であった。

支援期間

令和6年2月～現在も支援継続中。

相談経路

児童が通学する小学校校長・スクールソーシャルワーカーより緊急で相談。

抱える課題

- ◆日常会話に問題がないように思えるが、書類などの読解は出来ない。そのため児童の療育手帳の更新もなされていないままであった。
- ◆人に頼ってはいけないという思いが強く、すぐに「大丈夫」と言ってしまう、何をしなければならないか分からなくなっている。
- ◆児童の放課後保育のため、就労時間が制約され、収入が安定しない。

地域福祉ネットワークの視点

本人との関係構築

分からないことを恥ずかしいと思わずに相談することで、生活の安定につながると繰り返し伝え、本人が困っている事を話せる関係作りを行った。

関係機関と連携 → 自立した生活を目指す

- 学校は世帯の情報がない→共有することで世帯の状況が明らかになり、小学校校長・スクールソーシャルワーカーと連携し、必要な支援が受けられるように支援。
- 住居を失う可能性がある→管理会社へ相談。
- 関係機関とお互いの役割分担を行った。

支援の内容

- ◇公的手当の申請について各課へ相談、連携。中断していた手続きを進める。
- ◇滞納家賃→管理会社と何度も協議。分割で支払う事で退居を回避。
- ◇児童について→スクールソーシャルワーカーと連携、相談中。
- ◇児童の主治医を見つけ、療育手帳を再取得する。
- ◇母の就労収入の安定→女兒の放課後の過ごし方について相談中。

《支援の結果》

- 地域福祉ネットワークが本人と話し、困りごとに寄り添い、理解できる言葉で説明したことから本人の解決していこうという気持ちにつながった。
- 学校長、スクールソーシャルワーカーと常に情報共有することで、早い段階で世帯の生活状況などがつかめ、手続きに同行することで本人と関係機関をつなげることができた。
- 外国語の言葉や文化の違いだけでなく、本人がどれだけ理解ができていたか、各関係者が把握することで必要な支援につなげることができた。

◆ひきこもり世帯への支援

ひきこもり当事者を支える家族に寄り添い、集まって悩みを話し、気持ちを共有することで、心が少し楽になるような温かいつどいの場として「ひきこもり家族のつどいの場『いろり』」を開催しました。

《実施状況》

開 催	全5回(5月、7月、9月、12月、3月)
会 場	長田区役所 6階 多目的室 ※12月は長田区文化センター
参加人数	のべ8名

◆食のセーフティネット事業

生活に困窮する人に対し、区役所（くらし支援窓口など）や他の行政機関、あんしんすこやかセンター、生活福祉資金相談員と連携し、緊急的に食糧支援を行いました。

提供世帯	18世帯
主な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・貸付入金までのつなぎ支援 ・解雇や失業、就職活動の難航 ・雇用保険受給までの支援 ・金銭管理が難しい ・お金の紛失など

◆生きづらさを抱える方が集う事の出来る場の支援

何らかの事情で生きづらさを抱える方が集う事の出来る場の支援を目的に、令和3年10月より（居場所、生きがい、役割づくり）当事者支援「ぺだる」の定期開催をしています。参加することで家ではない場所へ行く機会を増やし、本人の実情を把握しつつそれぞれの方に併せて成功体験を増やし、人との交流に慣れていただく場として今後も活動を広げていきたいと考えています。

日 時	毎週金曜日 10:00～12:00 第3金曜日のみ 13:30～15:30
実施回数	98回
内 容	軽作業(書類の印刷やセット、封入など)、ボランティア活動など

◆生活に必要な物品の提供をきっかけとした相談対応

年末に全市的に行われたフードサポート事業へ参加。区生活支援課とともに相談対

応実施。

(2) 「困りごと」についての地域支援者向けの講習会の実施

「障害者支援を知り連携していこう！！」

令和5年12月13日（水）15:00～17:00 長田区役所7階大会議室にて開催。

内容：①障がい・介護それぞれの制度の違いを理解する

②65歳になった時にスムーズな移行ができるための関係性の構築を図る

(3) 「地域の課題」について地域の支援者と共に学ぶ勉強会の実施

「生きづらさを抱えた方への理解について」 ～1歩踏み出す気持ちを支える～

令和6年2月1日（木）14:00～16:00 区役所7階大会議室にて開催

講師：中央区幸地クリニック 中元 康雄 様

内容：ひきこもりの方の現状、気持ち、家族・支援者としての関わり方について

参加者：地域の方、ボランティア活動されている方、支援関係者、行政機関 計55名

(4) 成年後見制度の利用手続き「長田区相談室」の運営協力

成年後見の制度や利用手続きについて情報提供を行う初期相談窓口を神戸市社協成年後見支援センターとの協働により運営しました。

《実施状況》

開設日	毎月第4金曜日 13:30～15:30
場所	長田区役所 4階
相談件数	5件
相談内容 (重複あり)	・制度説明 5件 ・成年後見センターの紹介 2件 ・専門機関の紹介 1件 ・障害者支援センターの案内 1件

2. 自分らしく暮らせるように応援します

(1) 児童館・学童保育コーナーの運営支援

① 社協運営児童館の管理・運営

区内10児童館、4学童保育コーナーのうち、神戸市社協が指定管理者となっている6児童館と2学童保育コーナーについて管理・運営を行い支援しました。

② 区内児童館の運営支援

子育てコーディネーターが、区内10児童館、4学童保育コーナーの運営を支援しました。

《区内児童館の状況》

(令和6年3月末)

	館・コーナー	年間利用者数 (※1)	平均利用者数 (※2)	放課後児童クラブ 登録児童数
社協運営館	真野児童館	7,366名	25名	21名
	志里池児童館	9,381名	32名	28名
	長楽児童館	18,625名	64名	72名
	片山児童館	13,970名	48名	42名
	池田児童館	13,493名	46名	60名
	長田学童保育コーナー	6,523名	22名	38名
	長田児童館	12,068名	41名	34名
	御蔵学童保育コーナー	8,914名	30名	41名
他人運営館	五位の池児童館 (運営：神戸新生福祉会)	11,871名	41名	64名
	駒栄児童館 (運営：近田幼稚園)	19,665名	67名	90名
	大日丘児童館 (運営：雲雀ヶ丘福祉会)	9,560名	33名	25名
	丸山ひばり 学童保育コーナー (運営：雲雀ヶ丘福祉会)	3,210名	11名	22名
	細田児童館 (運営：神戸保育会)	17,733名	61名	82名
	蓮池学童保育コーナー (運営：神戸保育会)	6,706名	23名	39名
合計		159,085名	543名 ※児童館1日平均46名 コーナー1日平均21名	658名

※1：定例活動・行事の利用者、自由利用・その他の利用者

※2：令和5年度開館日数 293日

《巡回支援》

児童館巡回 55回 (移管支援も含む)

《児童館指導員区内研修会》

研修名	実施日	内容	参加者数
指導員・放課後児童支援員合同研修	5月30日(火)	長田区の母子保健事業等について	30名

		保護者対応について	
指導員研修	10月17日(火)	こども成長を支援する児童館 ～児童館活動を通して～	10名
放課後児童支援員 研修	9月13日(水)	放課後児童クラブにおける安全 管理・危機管理について	16名

《拠点児童館事業への支援》

長田区は令和5年度より拠点児童館がなくなり、細田児童館が、J-cafe(じどうかんカフェ)の事業のみ行うこととなった。区社協は、関係機関への広報の啓発支援を行った。



(2) 出前児童館(じどうかん☆よーせてなかよしひろば)の実施

児童館と主任児童委員、区保健師との連携のもと、乳幼児親子が孤立することなく、親子の仲間づくりや子育て相談がしやすい関係づくりとなるよう、区役所を会場に出前児童館を実施した。児童館を利用したことのない親子も児童館を知ってもらった親子の参加があった。



(3) 「親子ヨガ」(ママコーチング) 合同行事の実施

区内児童館に集う親子を対象に、各児童館で講師の指導のもと、楽しくヨガにチャレンジし、その後も自宅で継続してリフレッシュできる方法を学ぶことで心と体の健康増進と心の安定を図りました。10児童館39組(のべ81名)が参加しました。

(4) 児童館を拠点とした地域の子育て支援

① 子育てコミュニティ育成事業

地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図るため、児童館を拠点として民生委員、主任児童委員、婦人会、ふれあいのまちづくり協議会などの地域団体やボランティアの協力により開放委員会を設置し、休日に自由開放、行事開放を実施しました。

《実施状況》 ※社協運営の児童館のみ

児童館	自由開放・行事開放		主な行事開放の内容
	実施回数	来館人数	
真野	5回	170名	なつまつり、クリスマス会、テーブルゲーム大会、本に親しもう、まのスプリングパーティ
志里池	5回	248名	スーパーボールすくい、あきまつり、クリスマス会、百人一首大会、ミッションゲーム
長楽	7回	1,114名	夏祭り遊び、ハロウィンミニパーティ、飯ごう炊さん、クリスマスを楽しもう!、探せ!ちりモン!!、もちつき大会、カプラで遊ぼう!

片山	10回	358名	畑づくり、さつまいも植え、いもほり、紙コップ工作、夏祭り、クイズ大会、おたのしみクリスマス会、お正月遊び、絵本読み聞かせ、フラワーアレンジメント
池田	4回	334名	子育てフェスタ IKEDA (絵本読み聞かせ・ゲーム大会・昔遊び)、イケーダサル・ワールド・ツアー、年末お楽しみ会
長田	3回	141名	クリスマス会、エクササイズ講習会、神戸まつり番町地区パレード・防犯訓練
計	34回	2,365名	

② 小地域子育て支援ネットワークの推進と組織化

地域団体や事業者、学校等が、児童館を拠点として情報交換や課題検討を行うことにより、地域の子どもたちの健全育成を目的とした連絡会を開催しました。

《実施状況》

小学校区	児童館	連絡会	イベント
真陽	駒栄児童館	2回	4回
室内・御蔵・水木	長田児童館	5回	3回
蓮池	細田児童館	3回	1回
池田・長田	池田児童館	8回	4回
駒ヶ林	長楽児童館	2回	実施なし

(5) 生活福祉資金の貸付相談

低所得者や高齢者、障がい者世帯の経済的な自立と生活の安定のため、民生委員・児童委員による相談活動を支援しながら、制度実施主体である兵庫県社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会、区役所くらし支援窓口と連携し、貸付相談を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、離職した世帯や収入が減少した世帯の支援のため特例貸付償還の相談対応を行いました。

《相談対応状況》

資金種類		相談対応件数	貸付決定件数	貸付決定額
総合支援資金		143件	1件	200,000円
福祉資金	住宅改修費	1,484件	0件	0円
	福祉用具等の購入		0件	0円
	障がい者用自動車		0件	0円
	転宅費		0件	0円
	一時的に必要な経費(エアコン等)		23件	1,629,000円
	緊急小口資金		9件	535,000円
教育支援資金		1,722件	44件	32,388,000円
計		3,349件	76件	34,612,000円

特例貸付	相談対応件数	貸付決定件数	貸付決定額
償還	426件	-	-
緊急小口資金	8件	-	-
総合支援資金	7件	-	-
計	441件	0件	0円

※貸付資金の交付・償還管理は、兵庫県社会福祉協議会で実施。

※特例貸付は9月末で終了。

Ⅲ. つながり、支え合う

1. 支え合い活動につなげるため、話し合う場をつくります

(1) 民生委員・児童委員との連携

① 小地域支え合い連絡会を中核とした地域支え合い活動の展開

7か所のあんしんすこやかセンターと連携して、各地区民児協ごとに開催し、見守りが困難な事例への対応を各委員と共有するなど、高齢者の見守り活動を支援しました。

《小地域支え合い連絡会 実施状況》

開催回数	出席者数(のべ)
のべ38回	民生委員：302名 区社協：64名 あんしんすこやかセンター：105名

② 高齢者の訪問調査

長田区民児協の協力を得て、70歳以上の単身高齢者や75歳以上の高齢者のみの世帯に対する訪問調査を行い、高齢者見守り活動の基礎資料として整備しました。

《訪問調査 実施状況》

	70歳以上 単身世帯	75歳以上 高齢者のみの世帯
事前案内対象件数 (A)	1,451世帯	405世帯
訪問不要の返信等 (B)	764世帯	228世帯
訪問調査件数 (A)－(B)	687世帯	177世帯

《訪問調査後の「見守り台帳」作成状況》

	単身高齢世帯	75歳以上 高齢者世帯
「見守り台帳」作成済 ※累計	6,724世帯	1,025世帯

(2) 生活支援活動、生活支援サービスの開発と定着

① 地域ケア会議への参画

あんしんすこやかセンター圏域の高齢者見守りの関係者が集まり、地域課題や支え合い活動の仕組みづくりについて話し合う場に参画しました。

また、区役所あんしんすこやか係と協働して区地域ケア会議に参画し、あんしんすこやかセンター圏域で把握した地域課題について整理し、分析を行いました。

② 長田区実務者会の実施

地域ケア会議で把握した地域課題「認知症を早期発見する仕組みや多世代への認知症の啓発」について、解決するための仕組みづくりを検討しました。

《実施状況》

テーマ	小学校や児童館における高齢者・認知症学習の推進について
日程	令和6年1月16日(火) 13:30～15:30
場所	長田区役所 7階 702会議室
参加者	あんしんすこやかセンター職員、小学校教頭、児童館館長、その他関係機関 のべ21名

(3) 障がい者の自立と社会参加の促進

① 長田区自立支援協議会への参画

障がいのある人がそれぞれのライフステージに応じた自分らしい生活を実現することを目的として、障がいに関わるさまざまな関係機関や団体、行政と連携して、課題解決のために協議を行っています。



② 障がい福祉サービス事業所紹介ホームページ「さるびあギフト」の運営

区内の障がい福祉サービス事業所の商品や受注作業の広報の促進、また、工賃の向上を目的に、本会ホームページ内に現在、25の事業所の商品や受注作業を紹介するページを開設しています。



③ 一七市拡大版（福祉フェア）への協力

終了

1996年から2019年まで24年間、開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止が続き、再開が困難を極め、2023年(令和5年度)をもって終了となった。

2. 支え合い活動のしくみをつくり出します

(1) ほっとかへんネット長田（長田区社会福祉法人連絡協議会）への参画

区内の社会福祉法人（28法人・36施設）が施設の種別を超えてネットワークを構築し、地域における公益的な取り組みを行うために設立しています。本会も参画し、ホームページ内に取り組みを紹介するページを開設しています。



《実務者会》

(加盟法人が3つのチームに分かれて活動の企画実施に取り組みます)

研修チーム (9法人)	(1)分野を超えた研修会の企画・実施 困窮者の実態・実情を知り、ほっとかへんネット長田としてどのような支援ができるのかをテーマに全体研修会(グループワーク)を実施。
----------------	---

課題解決チーム (9法人)	(2)地域の課題解決のための具体的な活動の提案 フードドライブの継続実施。活用先として、こどもの居場所運営団体などにも拡充。また新たに「ほっとかへんネット長田」独自の物資ドライブも開始。
広報・イベントチーム(9法人)	(3)活動の周知・啓発、及びイベント企画・実施 チラシやホームページを活用した広報・啓発活動、地域のイベントの開催に併せて出張福祉相談会を実施。



(2) 長田区5歳児地域交流会の開催支援

公立私立の保育所(園)と認定こども園の5歳児が近隣の地域ごとに4つの地区に分かれ、運動あそび(ドッジボールなど)を実施して交流を深めました。

また、小学校入学に向けた鉛筆の配布は、芝田カナエ・和江基金が活用されました。

実施期間	実施回数	参加者数(のべ)
5月18日～12月20日	19回	363名

3. 支え合い活動が地域に根付くように応援します

(1) コロナで変化する地域福祉活動の支援

地域活動コーディネーター等が地域に出向き、地域活動者の声に丁寧に耳を傾け、居場所等の地域活動の継続、再開、立ち上げ、活動の転換など、より良い地域福祉活動を行うための提案を含めた支援を行いました。

《居場所等の地域活動の支援状況》

新規立上げ	再開・継続支援	相談中
5か所	10か所	8か所

※内7か所に3S助成を活用

(2) ふれあいのまちづくり協議会との連携

小地域を単位として、住民が中心となって進める地域福祉活動の丁寧な底上げを進めるために、ふれあいのまちづくり協議会と区社協の連携強化を目的に、ふれあい喫茶、運動会、フェスティバル等の行事に延べ43回訪問し、それぞれの地域での課題を共有するとともに、ボランティアの紹介や助成金の情報提供等を行いました。

(3) ひとりぐらし高齢者等友愛訪問活動の推進

民生委員・児童委員と地域住民ボランティアによる、高齢者の安否確認と孤立を防止するための見守り活動の支援を行いました。

《友愛訪問活動グループ 活動状況》

グループ数	ボランティア数	対象高齢者数	安否確認回数(のべ)
241グループ	1,062名	1,926名	101,182回

① 友愛訪問活動ボランティア交流会の実施

日頃の見守り活動で困っていることや他の地域での見守りの方法を共有し、見守り活動の現状の課題や今後の在り方について検討することを目的に、交流会を開催しました。

日 時：令和6年2月21日（水） 10：00～11：30

会 場：長田区役所7階 大会議室

参加者：民生委員 18名、友愛ボランティア 30名、関係機関 1名

内 容：①友愛訪問活動について（友愛訪問活動ハンドブックに基づく）

②グループワーク

(4) ひとりぐらし高齢者等ふれあい給食活動の推進

地域のさまざまな団体の協力を得ながら、高齢者に交流の機会を提供し、ふれあうことによって、孤立の防止を図るふれあい給食活動グループの運営を支援しました。

《ふれあい給食活動グループ 活動状況》

グループ数	参加高齢者数(のべ)	実施回数
27グループ	9,944名	308回

① 『長田もぐブログ』による情報の発信

給食会の情報やボランティアの活動を広く知ってもらうため、本会ホームページに「長田給食会『長田もぐブログ』」としてシリーズ化し、情報を発信しました。



長田もぐブログ キャラクター
「長田もぐ」

ホームページの新着情報で、『長田もぐブログ』を随時、発信しています。



② 長田区ふれあい給食会 情報交換&交流会

配食形式から会食形式に再開になるグループも増え、感染予防対策を行いつつ、ふれあい給食会各グループが工夫を重ね、地域の高齢者のために活動されています。情報交換及び交流会では、お互いの活動の悩みや工夫を共有し、他の活動状況を知ること

で、内容の充実と活動者のモチベーションアップを図りました。

日 時：令和5年9月26日（火）

14：00～15：30

場 所：長田区役所 7階大会議室

参加者：16グループ(29名)、関係機関 13名

内 容：①長田ボランティアセンター登録ボランティア団体による演奏
②情報交換・交流会

③ 「長田区高齢者を対象とした活動サポート助成」ふれあい給食会グループ物価高騰にかかる経費の助成

コロナ禍において原油価格や物価高騰が長期化していることから、高齢者の閉じこもり防止や交流を目的とするふれあい給食会の安定的な運営を支援するため、神戸市の補助金による「活動再開応援費」に加え、区社協独自で食費経費等高騰分を助成しました。(計16グループ 助成決定総額 630,000円)

④ 長田区歯科医師会による口腔ケア指導への協力

区歯科医師会が実施する地域住民への口腔ケア指導の取り組みに協力し、希望する給食活動グループへの派遣の調整を行いました。(計3回 のべ参加人数 59名)

(5) さまざまな居場所づくり

① コミュニティづくりの活動とつどいの場の支援

あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員と連携しながら、コミュニティづくりや介護予防、また、高齢者が誰でも参加できる「つどいの場」に取り組む地域住民による支え合いグループの支援を行いました。

《講師派遣メニューの提供》

地域活動の活性化や活動の機会となるように、地域の要望に添った講師派遣メニューを提案し、地域団体が実施するつどいの場などの活動を支援しました。

内 容	地域活動グループへの脳トレ体操、フラワーアレンジメントや長田ボランティアセンター登録ボランティア団体によるマジックや音楽演奏などの講師派遣やボランティアとの調整
申込件数	42件
参加者数	のべ719名

《「つどいの場」交流会の実施》

開催日	令和6年2月6日(火)14:00~16:00
会場	長田区役所 7階 大会議室
内容	・講師による講座「広報前の情報整理・チラシの書き方について」 ・広報について情報交換
参加団体	神戸市つどいの場支援事業補助金交付決定団体 3グループ 長田区高齢者を対象とする活動サポート助成 6グループ 来年度つどいの場の開催を検討している団体 2グループ のべ 21名

《長田区高齢者を対象とする活動サポート助成（3S助成）の立ち上げ》

コロナの影響を受け、住民同士の身近な交流さえも制限せざるを得ない状況が続いた中でも地域住民の様々な工夫のもと、実施されている高齢者のための地域活動を応援するため、小さな活動(Small)に対しても、分かりやすく(Smart)、速やかに(Speedy)支援につなげ、安定した活動運営の継続を図ることを目的に、柔軟に活用できる助成制度を創設しました。

助成団体	助成金額
手芸グループ	30,000円
こうべオレンジカフェかんで	30,000円
みんなで元気カフェ	17,640円
五位ノ池婦人会	30,000円
長田駅東ふれあい喫茶	42,000円
ブラボー会	24,000円
ナガ・イッキーナ・カフェ	36,900円
計	210,540円

② 生きづらさを抱えた人に居場所や“しごと”の場の提供（再掲）

③ ひきこもり家族のつどいの場「いろり」の開催（再掲）



④ 『絵本こうかん市場』の運営

絵本の有効活用と絵本を通じた子育て環境の整備を目的に、池田婦人会と協力しながら、長田中央市場内に開設し、運営を行いました。

⑤ こどもの居場所(こども食堂や学習支援等)への支援

立ち上げ支援等続け、令和5年3月31日をもって、長田区内13小学校区すべてに約30ヶ所のこどもの居場所が設置されました。

こども食堂や学習支援を行う約30団体に、巡回支援、情報提供、寄贈品の配布(物資パントリー)等の支援を行い、顔の見える関係づくりのための情報交換会や交流会を実施しました。

こどもの居場所の運営者、参加するこども・保護者へのアンケート回答より、居場所について周知をはかるために、「長田区知っとう?こどもの居場所」チラシを作成し、小学校、中学校に配布しました。また、長田区の居場所同士が互いに情報を共有し、運営の一助になるようこどもの居場所活動紹介冊子を作成しました。また、こどもの居場所についての理解を深めてもらえるよう、「長田区こどもの居場所紹介マップ」を8月と3月に発行し、こどもの居場所実施団体や、これから立ち上げようとする活動希望者、関係機関等に配布しました。

これから立ち上げようとしている活動希望者の相談を受け、情報提供や助成などの立ち上げ支援を行いました。

《パントリー・情報交換会・交流会の実施》

開催日	① 8月21日② 3月19日
会場	① 長田区役所 7階 大会議室 ② 長田区役所 7階 大会議室
内容	① 「私たちがこどもにできること」をテーマにこどもとの接し方等の講演を行ったあと、情報交換会を行った。また、会の終了後に物資パントリーを行った。 ②長田区内のこどもの居場所3団体様より事例発表を行っていただいた後、情報交換会を行った。活動紹介冊子も配布し、相互の情報共有が活発になるようにした。 会の終了後には、物資パントリーを行った。
参加者	① こどもの居場所実施団体 11団体15名 行政等 19名 ② こどもの居場所実施団体 23団体34名 行政等 13名

4. 違いや文化を認め合う地域を目指します

(1) 多文化交流と多文化共生の促進

① 地域共生コーディネート事業の実施(区役所からの受託事業)

地域社会とのコミュニケーション不足や、文化の違いについての相互理解が不足していることで、地域と在住ベトナム人親子は、共にさまざまな課題を抱えています。

通訳や翻訳によるコミュニケーション支援を行い、相互文化の理解不足を補うことを目的として、地域共生コーディネーターを配置しました。

② シンチャオ巡回の実施

児童館や学童保育コーナー、保育所でのベトナム人児童の増加に対応するため、施設を巡回（計94回）し、課題を把握し、通訳や翻訳支援を行いました。併せて、必要と思われる日本語を教え、意思疎通を図りました。

(2) 児童館を軸とした外国人親子への支援

《情報交換会の実施》

ベトナム人の児童が多い区内の児童館、学童保育コーナーと本会、区地域協働課で、ベトナム人親子の抱える課題について共有する情報交換会を実施しました。

開催日	2月8日
会場	長田区役所 7階 702会議室
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各館、保育所で把握したベトナム人親子の抱える課題の共有 ・各課題への対応の検討 ・在籍外国人親子について円滑な運営と支援を行うための情報交換
参加者	6児童館・1コーナー、4保育所(公立)、神戸ベトナム人会、神戸定住外国人支援センター(KFC)、神戸国際コミュニティセンター(KICC)、区地域協働課、区社協

《コミュニケーション支援の実施》

ベトナム人の児童が多い児童館や学童保育コーナー、保育所、区乳幼児健診（4ヶ月、1歳半）に参加する親子を対象に、地域共生コーディネーターが対面や電話での通訳、翻訳の支援、こどもの学習支援、個別懇談会対応、ベトナム人会へ交流アドバイス、日本語教室、わかりやすい日本語の資料提供などを行いました。

通訳支援 72回 99人	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ入会説明会 ・児童館で実施する懇談会 ・各児童館でのベトナム人親子への個別対応 ・保育所入所説明や書類の記入 ・区乳幼児健診 ・長田区役所窓口での対面通訳 ・区内保育所ベトナム人保護者への対面・電話通訳支援
翻訳支援 17件	<ul style="list-style-type: none"> ・各児童館の広報紙 ・おたよりや連絡文書 ・放課後児童クラブ入会説明会要項

日本語教室 8回	言葉の壁により、ベトナム人親子のコミュニケーションがうまく取れず、保護者によるこどもの学習支援が難しいなどの課題に対応するために日本語について学ぶ機会を作りました。
-------------	--

《多文化共生事業PR》

神戸ベトナム人会の始業式・お月見会・テト・クリスマス会への出席、児童館・コーナーの行事参加により、日本人と外国人の円滑なコミュニケーション作りを支援しました。また、言葉を超え、世界や日本の国々を身近に感じ、多文化共生の促進を図るため、児童館・学童保育コーナー・保育所・こどもの居場所（こども食堂・学習支援）に玩具を配布しました。

また、防災への意識を高めるため、親子を対象に防災の講座を実施しました。(3月)

IV. 法人の会議

1. 理事会、評議員会

	開催日程 会場	議事内容
理事会 (第1回)	6月5日 長田区役所 7階	1. 令和4年度 事業報告・決算報告 2. 評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の招集 3. 定時評議員会に提出する理事18名・監事3名の選任候補者(案) 4. 定時評議員会の招集・提出議案
定時評議員会	6月21日 長田区役所 7階	1. 令和4年度 事業報告・決算報告 理事18名・監事3名の選任(案)
理事会 (第2回)	6月21日 長田区役所 7階	1. 理事・副理事長の選定 2. 顧問の選任
理事会 (第3回)	3月18日 長田区役所 7階	1. 令和5年度 補正予算(案) 2. 吸収合併に伴う協議事項への合意 3. 吸収合併契約の締結 4. 令和6年度 事業の受託契約(案) 5. 令和6年度 役員等賠償責任保険契約の締結 6. 令和6年度 事業計画(案)・予算(案) 7. 第2回評議員会の招集、提出議案
評議員会 (第2回)	3月18日 長田区役所 7階	1. 令和5年度 補正予算(案) 2. 吸収合併に伴う協議事項への合意の承認 3. 吸収合併契約締結の承認 4. 令和6年度 事業計画(案)・予算(案)

2. 評議員選任・解任委員会

	開催日程 会場	議事内容
第1回	6月6日 長田区役所 4階	1. 評議員の選任
第2回	3月20日 長田区役所 4階	1. 評議員の選任

3. 監事監査

開催日程 会場	議事内容
5月19日 長田区役所 4階	1. 令和4年度 事業報告 2. 令和4年度 決算報告

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する事業報告の附属明細書（事業報告に内容を補足する重要な事項）に記載する事項はありません。

(参 考)

社会福祉法

(計算書類等の作成及び保存)

第45条の27 (略)

- 2 社会福祉法人は、毎会計年度終了後三月以内に、厚生労働省令で定めるところにより、各会計年度に係る計算書類（貸借対照表及び収支計算書をいう。以下この款において同じ。）及び事業報告並びにこれらの附属明細書を作成しなければならない。

社会福祉法施行規則

(事業報告)

第2条の25 法第45条の27第2項の規定による事業報告及びその附属明細書の作成については、この条の定めるところによる。ただし、他の法令に別段の定めがある場合は、この限りでない。

2 (略)

- 3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。